

49

大桑住宅団地



全体計画



住棟



集会所

団地全体のマスタープランの策定にあたっては、石川県新住宅マスタープランに沿い、新しい考え方や技術を積極的に取り入れることにより、加齢対応、省エネルギーや環境共生への対応を図っています。これらのうち特徴的なものとして

(1) 勾配屋根の採用による美しい金沢の町並みをイメージする新たな住宅地景観の創出を図りました。

(2) 常緑と落葉高木の混植をした「緑の軸」には、太陽光発電により雨水を循環させるせせらぎと池（ビオトープ）を設けました。

また、舗装面のほとんどを透水性舗装とし、雨水を地下に戻すことにより団地外への流出を抑え、路盤を厚さ50cmの再生砕石とすることにより、解体時に発生しているコンクリート廃棄物リサイクルに貢献しています。

さらに、次世代省エネルギー基準を先取りして採用すると共に、外断熱工法の採用により暖冷房によるエネルギー損失を最小限に抑えられるよう計画し、環境との共生を図りました。

(3) 長期耐用性の確保のため、躯体と内装を明確に分離した構成（スケルトン・インフィル分離方式）とし、またサヤ管ヘッダー方式を採用しました。

DATA

金沢市大桑町地内

3号棟	平成14年2月完成	RC造：4F	31戸	延 2,226㎡
4号棟	平成14年2月完成	RC造：4F	27戸	延 2,180㎡
集会所	平成14年2月完成	W造：1F		延 245㎡

50

法島住宅団地



1号棟

DATA

金沢市法島町地内				
平成11年12月完成				
RC造：3F				
12戸				
延 884㎡				